

安来市の医療提供体制の将来像（基本方針）について

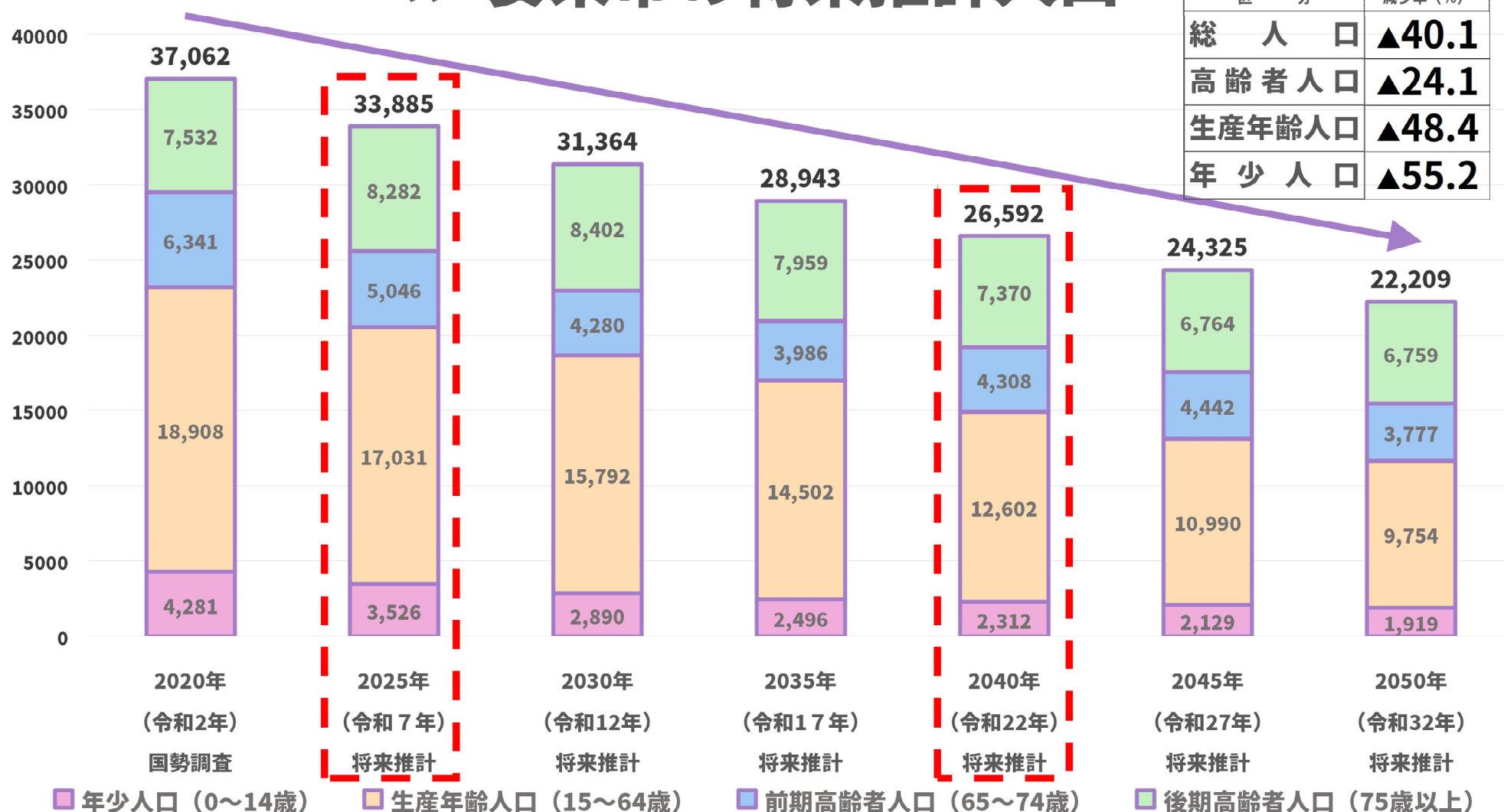
安来市健康福祉部病院改革推進室

この資料は公開可能です。

≫ 安来市の将来推計人口

人口減少率（2020年～2050年）

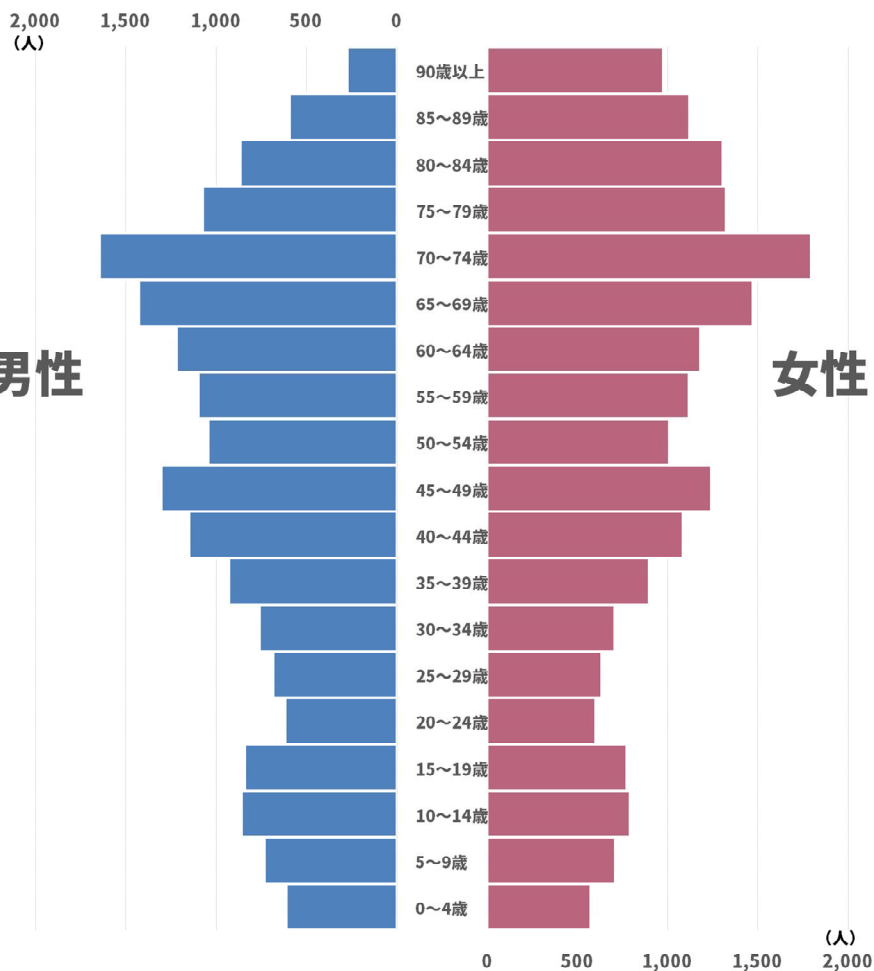
区 分	減少率（%）
総 人 口	▲40.1
高 齢 者 人 口	▲24.1
生産年齢人口	▲48.4
年 少 人 口	▲55.2



出典: 令和5（2023）年発表本医師会 地域医療情報サイト (<http://jmap.jp/>) を基に作成

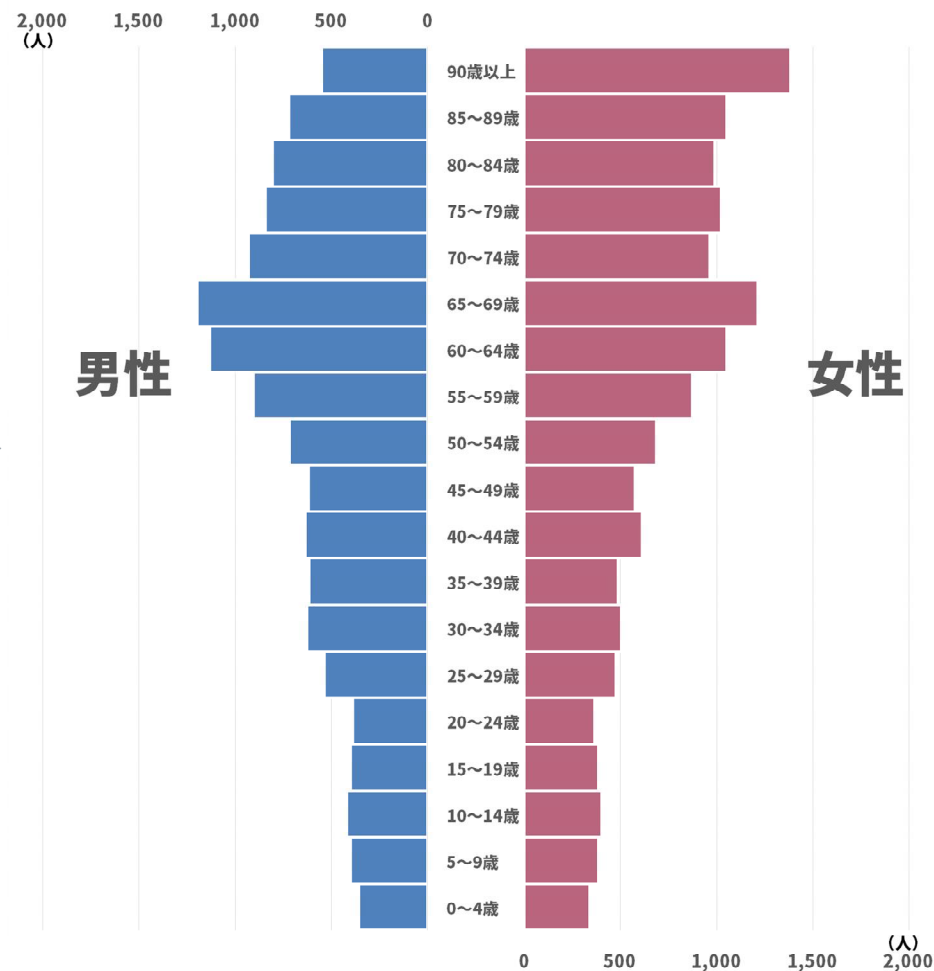
≫ 安来市の人口ピラミッド

2020年（令和2年）



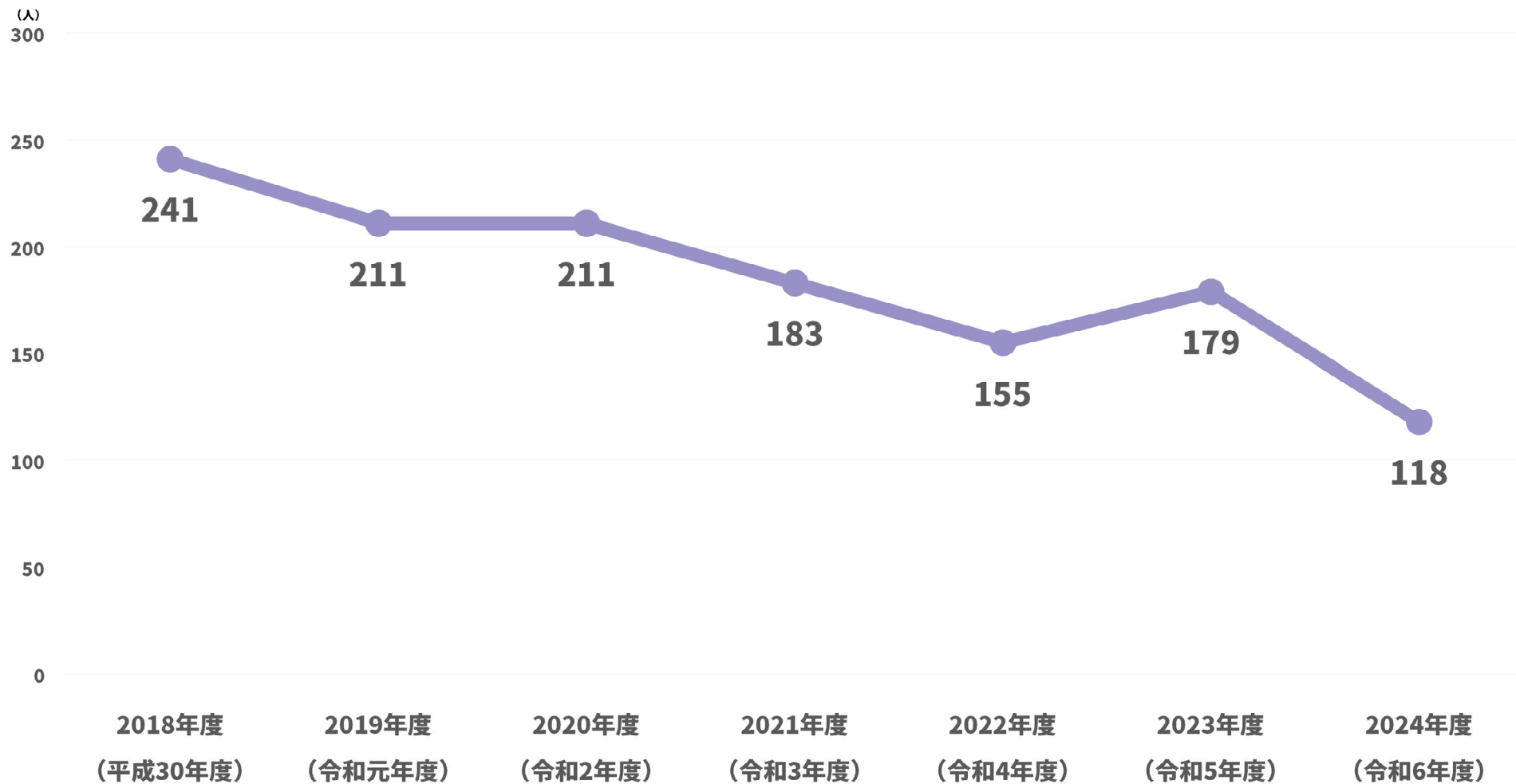
総務省統計局「国勢調査」を基に作成

2040年（令和22年）



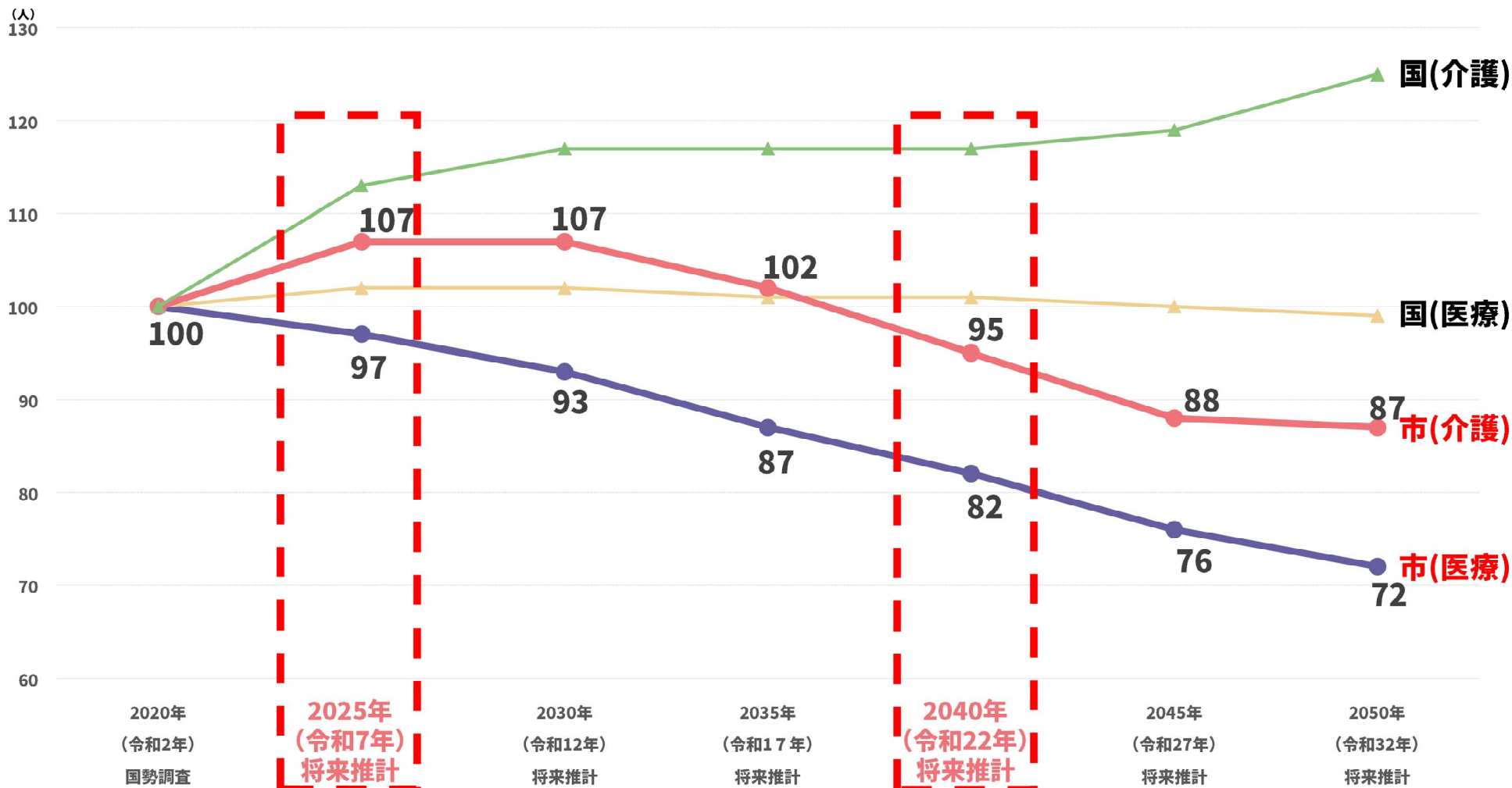
国立社会保障・人口問題研究所の推計方法を基に算出

≫ 安来市の出生数推移



住民基本台帳人口の実績を基に作成

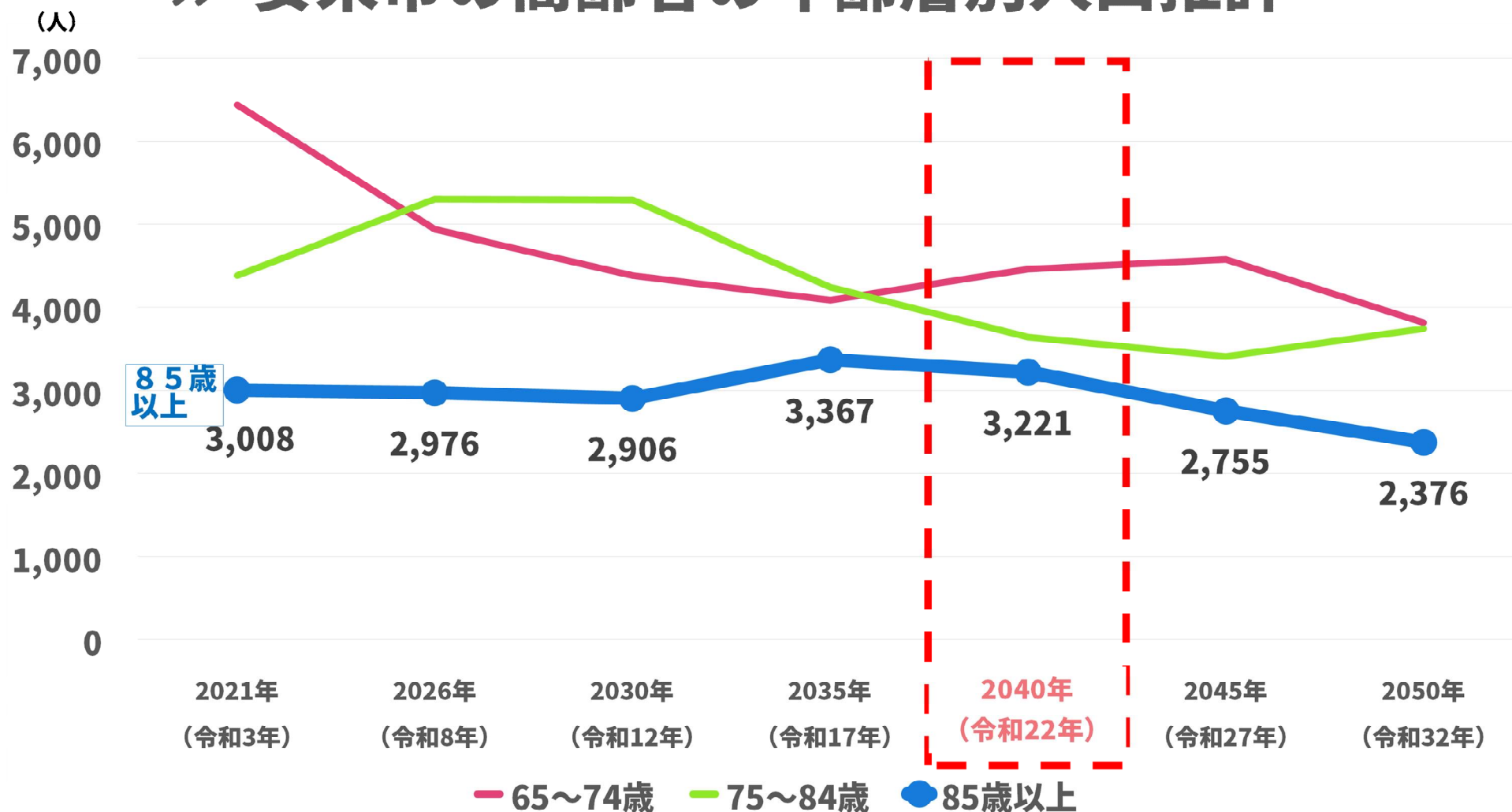
≫ 医療介護需要予測指数（2020年実績＝100）



● 医療：安来市 ★ 医療：全国平均 ● 介護：安来市 ★ 介護：全国平均

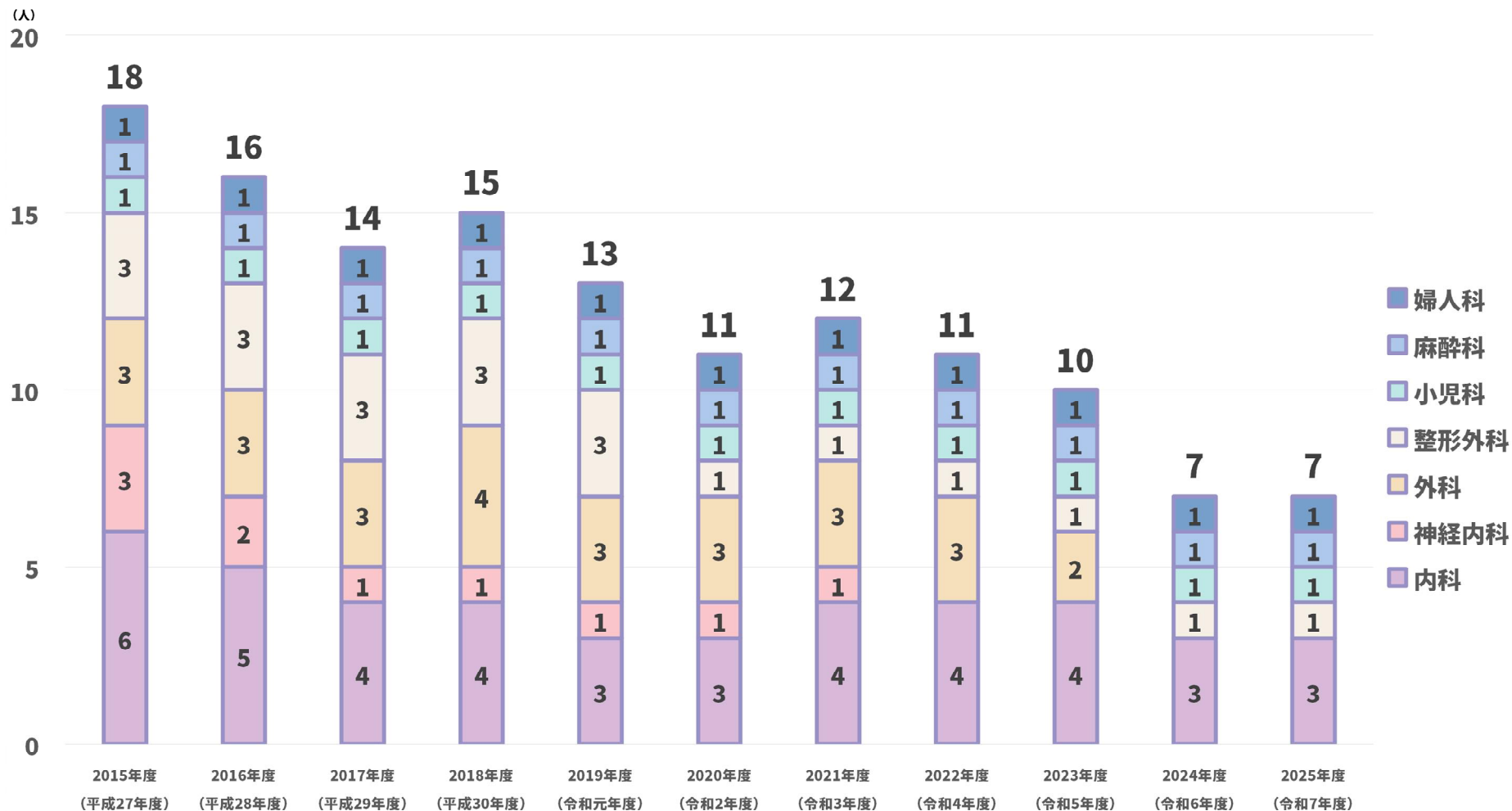
出典：日本医師会 地域医療情報サイト (<http://jmap.jp/>) を基に作成

≫ 安来市の高齢者の年齢層別人口推計



住民基本台帳人口の実績を基に作成

≫ 安来市立病院の常勤医師数推移



市民に安全・安心な医療を将来にわたって提供し続ける

＜基本方針＞

- 安来市立病院と社会医療法人昌林会安来第一病院は経営の統合を目指す
- 経営統合後の新病院は健全経営による持続可能な運営を行うため、医療環境の変化に迅速かつ柔軟に対応できる経営形態を採用する
- 経営統合後の新病院が担う医療機能は、以下のとおりとする
医療需要推計、両病院の診療実績、地域医療構想などの医療政策の動向を踏まえ、担う医療機能を調整し、柔軟に対応する
 - ◆高齢者救急・地域急性期機能と在宅医療等連携機能を担う
 - ◆へき地医療や救急医療等の不採算医療を担う
 - ◆松江圏域及び鳥取県西部圏域の急性期拠点機能や専門等機能を有する病院の後方支援の役割を果たす
 - ◆在宅療養患者を総合的にサポートし、診療所や介護事業所、福祉事業所等と連携して地域包括ケアシステムを支える
 - ◆災害や新興感染症等の発生時における必要な医療を担う
 - ◆指導医を確保し、医師の研修機能を担う
- 中山間地域の外来診療機能を担う拠点診療施設を広瀬地域に設置する
- 経営統合後の新病院として取り組む医療機能や規模を反映した病院施設を整備する